

盤。八枚盛食饗之。葉盤此云
毗羅耐

〔古事記傳 三十〕比羅傳と云は、久煩氏ホテに對ひたる名にて、淺く平なる由なり、其形右の式に、喜大

嘗祭 笠形とあるにても、凡てを知べし、

葉盤製作

〔古事記傳 三十〕今世大嘗祭に用ひらる、葉盤ヒラデも、柏葉を竹針にて、盃の形に刺作りたる物なりと

ぞ、

〔兼葭堂雜錄 一〕榲御膳 又榲御供とも云

榲葉にて、箱の如くに折て、細き竹にて縫製す、

榲の御供は圖略 圖 することく、榲葉を筥のごとくに折て、細き竹にて釘製せしものなり、帝都白

河家神祇官にて行はる鎮魂祭中、寅日にも、榲葉を八枚圓く重て、細き竹にて編つけ盆のごとく

に製し、中に飯を盛て神に供す、是をひらでの御供と稱す、其製小異ありといへども、榲の御食に

同じ、是なん上古より葉椀葉手といへる器なるべし、

〔類聚三代格 一〕太政官符

定准犯科祓事

一大祓料物廿八種 略 中 柏十五把 料枚手六十枚 略

一上祓料物廿六種 略 中 柏十把 料枚手册枚 略

一中祓料物廿二種 略 中 柏五把 料枚手廿枚 略

一下祓料物廿二種 略 中 柏五把 料枚手廿枚 略

延曆廿年五月十四日

葉盤用法

〔延喜式 七 踐祚大嘗祭〕凡供神御雜物者、中 並居葉椀久 菩 覆以笠形葉盤比 良 天 以木綿結垂裝飾、

〔江家次第 十五〕大嘗會